

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2022 年度事業報告書

2023 年 5 月



2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」においては、地方大会はオンライン形式が大多数ではありましたが、ここ 2 年間オンライン形式となっていた全国大会を、3 年ぶりにコロナ禍以前の集合形式にて無事開催することができました。また、「リアビズ高校生模擬起業グランプリ」は、成果発表会を集合形式で実施し、参加者同士の交流や、各模擬企業が壇上で成果発表を行うことができました。そしてインストラクター制度を見直し、新たに始めました「金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)」は、1 年間で約 300 名の加入をいただいております。

コロナ感染症の影響が残り、物価高も進む中、財政的には黒字で終わることが出来ましたが、多くの皆様のご支援や寄附等によって成り立っているものです。今後も持続可能な運営に向けて活動してまいります。

2022 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 第 17 回エコノミクス甲子園を開催

地方大会は 45 の地方大会（オンライン開催 34 大会、集合形式 11 大会）を実施し、全国で 805 チーム 1610 名の参加がありました。全国大会は 3 年ぶりに集合形式にて開催いたしました。45 の地方大会代表が参加し、オンラインではできなかった高校生同士の交流やディスカッションなども実施でき、大いに盛り上がる大会となりました。

金子・森育英奨学基金は継続して実施し、4 名の奨学生と 1 名の支援生が選ばれております。

また、感染症の影響で実施が遅れておりました、全国大会優勝者のニューヨーク研修旅行ですが、2022 年 9 月に 14 回と 15 回の優勝者について実施いたしました。2023 年 4 月に 16 回のうち 1 名と 17 回の優勝者も行いましたため、現在、権利を有しながら研修旅行の未実施は 16 回の優勝者のうちの 1 名のみです。

② 第 3 回リアビズ・高校生模擬起業グランプリを開催

今期も三菱みらい育成財団の助成金や、各方面からご支援をいただきました。

今大会には、全国から 55 の応募がありました。

今大会の新たな試みとして、集合形式の成果発表会を実施いたしました。各模擬企業が壇上で行う気持ちのこもった成果発表はどれも堂々としており、ご観覧にお越しの皆様からもご好評いただくことができました。

③ 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済 TCG エコノミカ」をオンラインにて継続して販売いたしました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、エコノミカ全国大会の実施はございませんでした。

④ 金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)

金融知力普及協会認定インストラクター制度は、2022年4月より「金融商品フェアアドバイザー資格 (FFA)」としてリニューアルし、運営をしております。金融知力インストラクターとして活動いただいていた方々には FFA への移行を順次お願いしております。現在、およそ 300 名の方にご登録いただいております。

⑤ 国際経済オリンピック (IEO)

国際経済オリンピック (IEO) は、2018 年から始まった、1 年に 1 度開催される、高校生向けの経済学、ビジネス、金融の知識を競う国際大会です。国際数学オリンピックなどと同じ国際科学オリンピックのひとつであります。現在まで、IEO に日本代表は出場・派遣されておらず、この度、お声がけをいただき、弊協会が代表選定機関として、初めて IEO へ日本代表を派遣することとなりました。日本代表は第 17 回エコノミクス甲子園全国大会出場者と第 3 回リアビズの出場者から 5 名で構成され、2023 年 7 月から 8 月にかけてギリシャで行われる大会に出場いたします。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2022 年の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	37 名	69 名	1930 名
アドバンスド コース	2 名	2 名	711 名
合計	39 名	71 名	2641 名

② セミナー・研修

2022 年に当協会が主催、受託、講師派遣した研修は、以下のとおりです。

- ・ベネッセ HD 「ベネッセみらいキャンパス」
夏休みにオンラインで小学生の親子を対象に、おこづかいの講座を行いました。
- ・ベネッセ 「小 4 保護者 WEB 記事 9 月号 おこづかいで金銭感覚」
オンライン記事の寄稿を行いました。
- ・農林中央金庫 「LPC 研修」
全国から農協職員が参加する研修の中で、金融経済のクイズ大会を実施しました。

- ・農林中金バリューインベストメント「モックトレーダー」
タブレットを用いて10年間の長期投資を1時間で体験できる模擬投資シミュレーションツールを、研修の中の1つとして行いました。

- ・BS よしもと「日本全国なんでも甲子園」出演
第16回エコノミクス甲子園と第2回リアビズをそれぞれ紹介するため、2度出演（放送は計3回）しました。

I-3. その他特記事項

① 寄附金

一般会計には、個人から207万円の寄附がありました。
エコノミクス甲子園関連は3,865万円のご寄附を頂きました。
リアビズ関連には、300万円の寄附と800万円の助成金をいただきました。
奨学金特別会計には、800万円の寄附をいただきました。

② 雑収入

事業復活支援金100万円の給付ならびに123万円の国税還付金がございました。

Ⅱ. 財務の状況

2022 年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。本年度より、公認会計士のご勇退のため、税理士へ全件監査を委託しております。引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益計は、昨年度 7,670 万円から今年度 6,803 万円と 867 万円の減少でした。
- ・ 事業費は 5,700 万円で、そのうち 1,449 万円が人件費となっております。
- ・ 管理費は 968 万円で、そのうち 709 万円が人件費となっております。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用計は、昨年度 6,826 万円から今年度 6,668 万円と 158 万円の減少でした。
- ・ 2022 年度の利益は 128 万円となっております。

以上